

あしつ 育成だより

16

立教 184 年 1 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

- 特集 ①芦津 道の後継者の集いⅡ
②毎月入科になった修養科



《親のことば》

この道知らない人に、教祖の教えを分かってもらおうと思うならば、この人の話ならば聞いてみようと思ってもらえるような人に成人させていただくことが大切であります。それには、教祖の教え子らしく、思召にかなった日々の通り方を心がけることあります。そして、まず自らがお道のにをいを身に付けることあります。

(立教 175 年「第 88 回青年会総会」における真柱様お言葉より)

①芦津 道の後継者の集いⅡ

1人でも多くの若者を集いに参加させよう

芦津大教会では、今年の秋から3次に分けて「芦津 道の後継者の集いⅡ」を開催します。対象となるのは18歳から45歳までの若者たち。

大教会では定期的にこうした「集い」を開催し、直接若者に声を掛け、繋がりを作り、居場所を作ることが大切と考えています。大教会という大きな器を利用して、同じお道を通る仲間と知り合い、勇んで毎日を通れるような集いを企画しています。

教祖がおつけくだされた道を歩もう

道の後継者の集い

第1次 9月18～19日
第2次 10月2～3日
第3次 11月27～28日

全体講義 「心の向きを変えよう」
講師：金山元春先生（臨床心理士・淀分教会所属・天理大学教授）

選択講座① 基本教理を学ぼう
●かじもの、かりもの ●十全の守護 ●八つのはこり

選択講座② 変身しながらスキルを身につけよう
●おとばりやちびばり ●読んでおきたい「キャンプ・アパレル」 ●健康マジックとアート・パフォーマンス
●誰でも簡単ニコマック ●日からマッコの健康法 ●音楽スゴロドメニュー
●おみこ祈禱！ストレッチするマツダ ●DAYS入門講座

選択講座③ おつとめを学ぼう
●打ちもの ●笛 ●小鼓 ●大喧嘩 ●地方 ●おつとめ歌の創作

芦津大教会

●教会の未来は人材育成にかかっている

昨年、中田善亮表統領先生が、教祖 150 年祭、立教 200 年に向けて、それぞれの教会が光輝くよう、人材を育てねばならないと、強く訴えかけられました。コロナの中でも、今できることを見つめ、人を育てる努力を怠ってはなりません。

現在、大教会では、若者の人材育成を途切れずに進めていくための「流れ」を構築しています。教祖年祭から次の年祭までの 10 年間を一つの区切りとして、おちばで開催される「後継者講習会」の対象者の丹精を継続する。そのために、教祖年祭の 2 年後、5 年後、8 年後に「芦津道の後継者の集い」を開催し、若年層育成の大きな流れの芯にしたいと考えています。



3年前に開催した「芦津 道の後継者の集いⅠ」の様子

●1人でも多くの若者を集いへ

今年は、教祖年祭から5年が経過し、集いのⅡを開催する年となりました。集いⅡでは、日常生活や教会での活動などに役立つことと、おつとめの基本を学ぶことをテーマに企画をしています。また全体講義には、『天理時報』などでもご活躍の金山元春先生（臨床心理士・淀分教会所属・天理大学教授）にお越しいただいて、お話を聞かせていただきます。

こうした大教会主催の大きな行事に参加することで、お道を信仰する者同士と知り合うことができます。若者がお道から心を離さないためにも、一緒に道を通る仲間は大切に、大勢の仲間の存在は「この信仰は間違いないんだ」という自信を持つことにもつながります。

「眞明組講名拝戴 140 周年」の年を迎え、これから先、先人先輩方の後続く「道の後継者」の育成はより重要になります。それぞれの教会が今後輝いていくためにも、これから芯となって活躍してもらおう若者を大事に育てねばなりません。この集いは、大きな気づきや学びを得られる機会になると思いますので、教会長の皆様には、まずは対象者に漏れなく声をかけ、集いへの参加を促していただきますようお願いいたします。

道の後継者の集いⅡに対する Q&A

Q. なぜ集いを開催するのですか？

A. おちばで開催された「後継者講習会」を受講した若者の丹精を、所属教会にすべて任せてしまうのではなく、大教会で定期的に大きな集いを開催することで、切れ目なく丹精が行き届くようにしたいと思います。また、集いに参加した若者同士がつながりを持つと同時に、信仰への自信を深める場にしたいと考えています。

Q. どんな内容になるのですか？

A. これまでの講習会や研修会のような机上の学びやグループワークだけでなく、「楽しみながら」「主体的に」「身体で身につける」ことなどがテーマになっています。そのため、選択講座を採用して自分の興味のあることを選べるようにしました。選択講座2では「教会や信仰生活で役に立つこと」を実技を交えて学び、選択講座3では、教えの芯となる「おつとめ」について身につける機会にしたいと思います。



マジック&アートバルーン



魚さばきと包丁研ぎ



簡単エコバッグ作り

Q. 教会の役割はなんですか？

A. 各教会でできる丹精もあれば、なかなか届かない部分もあると思います。大教会という「大きな器」をうまく利用して、若者に直接声をかける絶好の機会にさせていただきたいと思います。3月には詳しい内容を書いた要項と対象者名簿を配布しますので、広くようぼく・信者子弟に漏れなくお声掛けをいただいて、大勢の方を集いに送り込んでいただきたいと思います。

Q. コロナ対策はしていますか？

A. 詰所では手洗い、消毒、検温、換気を徹底しております。また、今回は選択講座を多くし、全体での講義や食事も空間をしっかりと空け、換気を徹底して「3密」にならないよう配慮しますので、安心してご受講ください。
※コロナの状況が悪化した場合は、企画を大幅に変更する可能性がありますので、ご了承ください。

②毎月入科になった修養科

心を合わせ 共に学ぶ

芦津大教会は立教 183 年より、毎月修養科に入科ができるように体制を変更しました。昨年は 8 月以降、毎月複数名が入科し、おぢばで充実した 3 カ月を過ごしています。体制変更より 1 年が経ち、これまでとどういった変化があったのかを考察します

1 期生から 3 期生まで

これまでは 3 カ月に一度の入科のため、タイミングが合わず、なかなか入れないという方もおられました。毎月入科が可能になり、仕事やそれぞれが抱える事情など、自分の都合に合わせて入科できるようになりました。

毎月入科になったことによる一番の変化は、各期の修養科生が一緒になって生活をする点です。前期の修養科生が手本となって、次期の修養科生におてふりを教えたり、日常生活の手助けをするようになりました。また詰所での修練は、全員が一緒に行う場合と、各期で分かれて行う場合とが出てきましたが、月の後半に差し掛かると、全員でおつとめ総合まなびの練習に入り、3 期生の一生懸命な姿に、2 期生・1 期生が感化されていきました。3 期生は夕づとめ遥拝の前から修練場で自主練習を繰り返し、2 期生・1 期生も共に練習に励むようになりました。

修了おつとめ総合まなび

12 月 26 日、この日は修養科第 952 期生の「修了おつとめ総合まなび」の日。詰所大広間には、おつとめ衣に身を包んだ修了生と、共に修養科棟で過ごしてきた 953 期生・954 期生、さらには 11 月に修了した 951 期生の有志も集まりま



した。1 カ月目、2 カ月目の教養掛も駆けつけ、共に学んだおつとめを精一杯つとめました。また、この日は 26 日ということもあり、修了生の所属教会長や直属教会長もおつとめに参拝されました。

共に過ごした仲間の存在

毎月入科になり、違う期の修養科生と触れ合うことで、同期だけでは得られなかった刺激や感動を、共に味わうことができます。特に、「修了おつとめ総合まなび」では、大勢の方に支えられてきたことが実感できます。共に過ごした別の期の修養科生、教養掛、詰所の勤務者など、いろいろな方との心の繋がりを、このおつとめを通して改めて感じることができました。

毎月の受け入れで入科しやすくなった修養科、教会を支える方の心の成人のために、1 人でも多くの方に入科いただきたいと思います。



青年会芦津分会 リーダーズミーティング

御臨席総会に向かって思いを共有

青年会芦津分会（井筒敏成委員長）では、来年8月に青年会長様御臨席総会を控え、芦津分会の活動を共有し推進するため、部属分会委員長を対象に「芦津分会リーダーズミーティング」を開催。コロナ禍の状況を鑑みて、ウェブ会議サービスZOOMを使用して、オンラインでの開催となりました。

初めに、井筒委員長が挨拶をし、御臨席総会を迎えるにあたって、青年会員が日々成人に励み、地域、社会に貢献できる姿を目指す旨を説明しました。

次に、今川副委員長が青年会活動の内容を説明し、部属分会委員長として、会



員への声掛けなど、分会活動の充実を図るためのポイントを共有しました。

各部連絡の後、フリートーク。分会委員長になった経緯、近況や職場での出来事などそれぞれの話に耳を傾け、画面を通してコミュニケーションを図り、更なる分会活動の充実を誓い合いました。

第1回は昨年12月5日、常任委員6名、部属分会委員長5名が、第2回は1月7日、常任委員6名、部属分会委員長3名が参加しました。今後も、随時開催予定です。

育成の現場から

各家庭も会場に開催

ファミリーおつとめの集い
分散開催

大島分教会

コロナ禍の中では、1カ所に大勢が集まる行事や活動は開催が難しいのが現状です。

そんな中、大島分教会（加世田洋会長）は、どうすれば「ファミリーおつとめの集い」が開催できるのかを模索しました。本来、昨年11月に25回目の開催を予定していましたが、従来の形ではできません。加世田会長は「こういう時だからこそできる内容を考えて取り組もう」と述べ、それを受けた大島育成部が検討を重ねました。そこで「集まっただけの開催が難しいなら、別々の場所で同じ思いで勤めるのはどうか」という話になりました。

日時は11月中の皆が集まれる時間、場所は教会、布教所、信者宅でもいいので、心をおちばに向けて勤めること。そして、それぞれで集合写真を撮影し、12月の大島分教会報



芦大熊分教会でのおつとめの様子

にカラーで掲載することにしました。

その結果、奄美大島本島内だけでなく、関西各地を含む55ヶ所から、合わせて307名（そのうち、少年会員73名）の笑顔の写真が集まりました。

コロナの影響で、人が集まって行う行事や活動はまだ難しい状況ですが、「工夫次第でできること」を模索していきましょう。



2泊3日の合宿 大学卒業生の集い Joyous Style

学生会

■受講期間

- ①3月1日(月)～3月3日(水)
 - ②3月5日(金)～3月7日(日)
 - ③3月9日(火)～3月11日(木)
- のいずれか1回のみ受講可

■対象 令和2年度大学・大学院・短期大学・専門学校の卒業予定者で、全期間を通して参加できる人

■場所 本部宿舎での合宿

■内容 講話、グループワーク、お楽しみ行事

■申込 1月31日までに芦津詰所へ提出



3月28日㊤ 道の学生オンラインの集い

学生会

■内容

- 午前10時30分より 春まつり
 - 午前11時より 式典(約1時間)
 - 本部から動画の配信があります。
- その後、団体アワー

■場所 芦津詰所

■参加対象 高校生(新1年生も含む)・大学生・短期大学生・専門学校生・大学院生

※いずれも詳細は、芦津学生担当委員会(木村・奥田)までお問い合わせください



3月28日㊤ 少年会芦津団おつとめの集い ～ネット配信～

少年会

■内容

午前10時30分 開会
おつとめ、大教会長様お話など

■場所 芦津大教会

■代表による少年会員でおつとめをつとめ、その模様をネット配信します。ネット配信の詳細は、後日お知らせしますので、ぜひ子供さん方とご覧ください。代表の少年会員については、直接各教会と相談させていただいておりますので、ご了承いただくとともに、コロナ禍で大勢が集まるのが難しい状況を何卒ご理解ください。



①芦津 道の後継者の集いⅡ ②毎月入科になった修養科

あしっ 育成だより 16

立教184年1月23日発行
編集/天理教芦津大教会育成部